

一般社団法人 日本自動車会議所 平成30年度 定時総会懇親会

内山田 竹志会長 挨拶

本日は、私どもの総会懇親会に、会員や自動車業界をはじめ、このように多数の皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございます。

来賓として、牧野国土交通副大臣、大串経済産業大臣政務官、そして、自動車にご理解をいただいております国会議員の先生方には、国会開催中のお忙しい中、また、関係省庁からも公務ご多忙の中、多数の皆さまにご臨席いただき、日頃のご指導・ご支援の感謝とともに、心からお礼申し上げます。

さて、先ほどの定時総会・理事会におきまして、会員の皆さまのご協力をいただき、議案はすべてご承認いただいたことをご報告させていただきます。会長は引き続き私が務めさせていただきますが、今回は改選期でもあり、副会長5名全員が交代となりました。

副会長には、新たに日本自動車工業会の豊田会長、日本自動車販売協会連合会の小関会長、全日本トラック協会の坂本会長、日本バス協会の三澤会長、全国ハイヤー・タクシー連合会の川鍋会長、以上の方々をお願いすることになりました。今後とも引き続きご指導賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

現在、自動車業界は「100年に一度」の大変革期を迎えていると言われております。クルマの進化は大変目覚ましく、クルマ社会全体を巻き込んだ大きな変革が進行中です。さらにここに来て、懸念されておりますアメリカとの通商問題は、「貿易戦争」と表現されるレベルまでリスクが高まり、緊迫した折衝の続く北朝鮮情勢は、今後どのような影響をもたらすか不透明な状況です。



このような先の見通せない、舵取りの大変難しい状況下であればこそ、各界のリーダー一人ひとりが、前例にとらわれない大胆な発想でヴィジョンを描き、実現に向けた強い決意で、先頭に立って取り組むことが求められていると思います。

私どもの今年度の最大ミッションは、「自動車関係諸税の抜本改正」です。新車販売は、国内自動車産業のベースとなるのもので、特に本年は税制大綱で示された改正の「勝負の年」であり、産業基盤をより強固なものとする「チャンスの年」でもあります。幸い、好調な世界経済を背景に、日本経済も回復基調で、新車販売は本年も3年連続で500万台規模を達成できる見通しですが、自動車産業にかかわる540万人の雇用を支えるこのレベルは、何としても守り通さなければなりません。

この過重で不合理な税を強いられている多くのユーザーの思いを、納税者の真の「声」として結集し、業界一致団結して、本日ご参会の皆さまのお力もお借りしながら、悲願であります「自動車関係諸税の負担軽減と簡素化」の実現、とりわけ自動車税の引き下げなど、保有課税の見直しに向けて邁進する所存です。

東京オリンピック・パラリンピックが2年後に迫りました。電動化、知能化、情報化といった新技術と、シェアリングなどの新しいサービス、このような「クルマとクルマ社会の進化」を、「新たなクルマ社会のショーケース」として、われわれは皆さまにお披露目する予定でございます。

会議所としましても、「クルマ社会の持続的で健全な発展」を目指すという基本理念のもと、「総合団体」としての機能を活かし、「政策要望・提言」、「クルマ好きの育み」、「啓発・研究」活動を通じて貢献してまいりますので、皆さまの倍旧のご指導、ご鞭撻をよろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご発展とご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

来賓ご挨拶

牧野 たかお国土交通副大臣 ご挨拶

国土交通省では、「安全・安心なクルマ社会」の実現と、自動車関連産業の一層の発展に向け、さまざまな施策に取り組んでおります。

まず、自動運転ですが、今年4月に取りまとめられた「自動運転に係る制度整備大綱」に基づき、車両の安全確保、自動運転移動サービスの安全と利便性の確保、自動車損害賠償の責任のあり方などの検討を進めております。

また、働き方改革については、3月にトラック・バス・タクシーの各団体の皆さまからアクションプランをご報告いただきました。皆さまの決意に、改め



て感謝申し上げますとともに、国土交通省として先ごろ策定された政府行動計画に基づき、関係省庁とも連携をとって具体的な施策を遂行してまいります。

さらに、東京オリンピック・パラリンピックの図柄入りナンバープレートに続き、走る広告塔として、地域の魅力を全国に発信する地方版図柄入りナンバープレートの交付を10月から開始いたします。多くのユーザーに取り付けていただきますよう、認知度の向上に向けてご協力をお願い申し上げます。

本年度の予算では、一般会計から自動車安全特別会計への繰り戻しが15年振りに行われることになりました。この再開に向けて、皆さまのご尽力に改めて敬意を表しますとともに、今後も着実な繰り戻しがなされますよう、引き続き財務省と協議してまいります。

結びに、日本自動車会議所の一層の発展と、本日ご出席の皆さまの益々のご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

懇親会場スナック



総会懇親会で小関眞一副会長（中央）の「乾杯」の発声で杯を上げる三澤憲一副会長（右）と川鍋一朗副会長（左）

大串 正樹経済産業大臣政務官 ご挨拶

安倍政権発足から5年が経ちましたが、この間、名目GDPは55兆円増えました。多くの企業が最高水準の経常利益と賃上げを実現し、経済の好循環が着実に回りはじめています。昨年度の国内新車販売台数につきましては、前年同期比2.3%増の約520万台と2年連続で500万台を維持し、消費増税後の低迷から回復しつつあります。



一方で、来年10月の消費税率10%への引き上げによる自動車ユーザーへの負担増は、自動車市場を再び冷え込ませます。国内自動車市場の活性化のためには、消費増税への適切な対応に加えまして、複雑で負担が重いというユーザーの声の大きい車体課税の見直しが重要であると考えております。まさに今年が大勝負の年であります。平成29年度与党税制改正大綱に基づき、ユーザー負担の軽減に向け、皆さまと連携し全力で取り組んでいきたいと思っております。

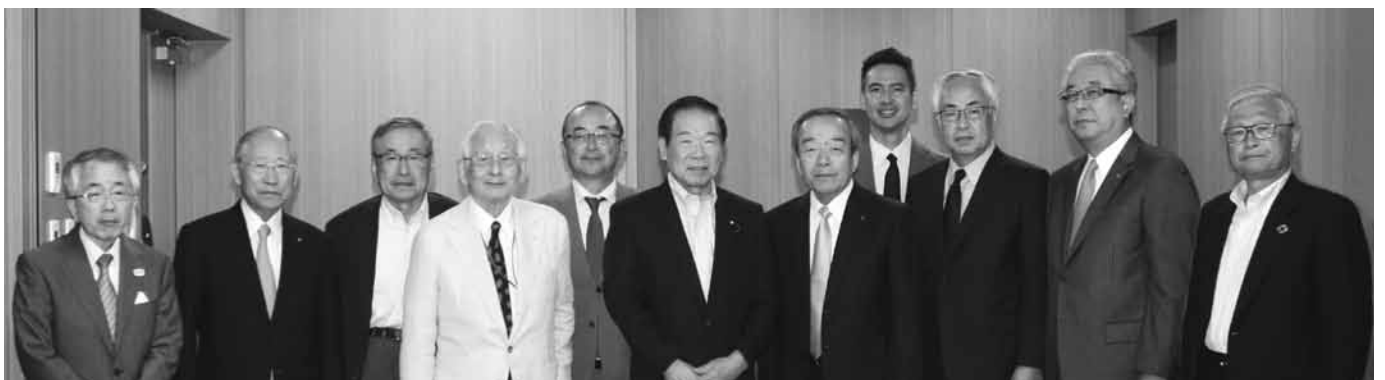
ご承知の通り、日本の自動車産業は電動化・自動化への対応など、100年に一度の大変革の時期を迎えております。こうした変化に対応するためにも、本年4月の世耕大臣の主催により、「自動車新時代戦略会議」を立ち上げました。今後、日本としての戦略を世界に打ち出していく予定です。

国内市場の活性化とともに、全世界が市場である皆さまにとって、自由貿易の推進は非常に重要であると認識しております。TPP11の早期発効あるいは日EU・EPA（経済連携協定）の早期署名、質の高いRCEP（東アジア地域包括的経済連携）妥結などに向けて、一層努力してまいります。日米間の新通商枠組みでは、TPPが日米にとって最善という立場に立って議論してまいります。米国の鉄鋼・アルミニウムの輸入制限措置に対し、WTOの枠組みの下で、恒久的に対象から除外するよう引き続き働き掛けてまいります。

また、自動車に関しては、トランプ大統領が通商拡大法232条に基づき調査開始を指示しましたが、現時点では具体的な措置が決定されたわけではありません。わが国としては、いかなる貿易上の措置もWTO協定と整合的にあるべきという立場でありませんが、動向をよく注視していきたいと考えております。

このように、自動車業界を取り巻く環境は厳しさを増しており、まさに大変革期を迎えております。しかし、日本の自動車産業はこれまでオイルショック、バブル崩壊、リーマンショックと数々の難局を官民一丸となって乗り越えてきました。経済産業省としましても、内山田会長のリーダーシップの下、新たにご就任された副会長の皆さまとともに、引き続き官民一体となり、この時代の転換点に適切かつ確実に対応してまいりたいと考えております。

是非ともご協力をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はご盛会、誠にありがとうございます。



総会懇親会開催前に役員控室を訪れた自動車議連会長の額賀福志郎衆議院議員（中央、左から6人目）と記念撮影する会議所新旧役員。（左から）島倉秀市前副会長、富田昌孝前副会長、山下邦勝新監事、生田允紀前監事、久恒兼孝前副会長、額賀会長、内山田竹志会長、川鍋一朗新副会長、三澤憲一新副会長、小関眞一新副会長、井口武雄監事



懇談する(左から)内山田竹志会長、小関眞一副会長、野田毅衆議院議員(自動車議連副会長)、とかしぎなおみ衆議院議員、原田憲治衆議院議員、北側一雄衆議院議員



内山田竹志会長(左)と握手を交わす井上義久衆議院議員(自動車議員懇話会会長)



登壇者の挨拶に耳を傾ける(左から)北側一雄衆議院議員、細田博之衆議院議員(自動車議連幹事長)、三澤憲一副会長



懇談する(左から)梶原景博日本バス協会理事長、甘利明衆議院議員、矢代隆義日本自動車連盟(JAF)会長、三澤憲一副会長



小関眞一副会長の「乾杯」の発声で祝杯を上げる出席者の皆さん



内山田竹志会長（右）と握手を交わす山口那津男参議院議員（公明党代表）



懇談する小関眞一副会長（左）と奥野信亮衆議院議員（右、自動車議連事務局次長）



歓談する（左から）阿達雅志参議院議員、奥田真弥石油連盟専務理事、山際大志郎衆議院議員（自動車議連事務局次長）、永塚誠一日本自動車工業会副会長・専務理事



歓談する（左から）竹下巨衆議院議員、片山さつき参議院議員、川鍋一朗副会長



立礼にて来場者を迎える（左から）川鍋一朗副会長、三澤憲一副会長、小関眞一副会長、内山田竹志会長